

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 18 日作成)

委員会名	鋼構造素材小委員会	主 査 名：中込忠男
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：小野徹郎
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>鉄骨構造の地震時における破壊現象に関する既往の研究成果を調査し、破壊評価手法に関する調査研究を行う。また、設計に結びつけることを視野に入れ実用的なものを加味した形で報告書等にまとめ、最終的にシンポジウム又は講習会の形で会員への情報提供を行う。</p> <p>2001～2003 年度：文献による調査研究 2004 年度：種々の破壊解析手法の比較検討および検証 2005 年 6 月または 7 月頃にシンポジウムまたは講習会開催予定</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査：中込忠男(信州大学) 幹事：山田文富(千葉工業大学) 委員：一戸康生(住友金属工業)・宇田川邦明(東京電機大学)・梅国 章(竹中工務店)・桑村 仁(東京大学)・志村保美(新日本製鉄)・深沢 隆(巴コーポレーション)・福田俊文(建築研究所)・堀井昌博(足利工業大学)・堀江竜巳(清水建設)・松本由香(横浜国立大学)・見波 進(東京都立大学)・村山敬司(中部鋼鉄)・佐藤篤司(名古屋工業大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	170,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>6 回開催 4 月 25 日・5 名、7 月 25 日・7 名、7 月 25 日・7 名、8 月 20 日・4 名、10 月 15 日・3 名、1 月 28 日・7 名</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>鉄骨構造の地震時における破壊現象に関する既往の研究成果、特に破壊を評価する手法に関する文献調査を行った。さらに種々提案されている破壊評価手法の比較検討を行う為の評価対象および条件の検討を行なった。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初計画どおり、次年度実施する破壊評価方法の比較検討、および検証のための実大実験のための条件設定を行なった。</p>
その他評価すべき事項	